あいちょう

あいぢょうだより

2013年3月

第25号

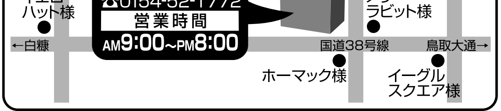
当社でも釧路検定試験を社員と一緒に受験してきました。合格率はナイショですが、地元くしろの事でも知らない事がたくさんあり、とても良い勉強になりました。

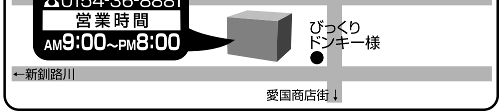
あいぢょう便りをご愛読の皆様、こんにちは（こんばんわ）仲卸の木村です。毎日お客様との会話で「今日も寒いですね」ほとんどがそうです。でも本当に寒いですよね。早朝・夕方の船積で埠頭副港の船着場に行くと身も凍る寒さで堪えます。
そんな寒い時には、心と身体を暖めてくれるのが私にとっては**「お酒」**ですね。彼とは長〜い更に長〜いつき合いです。いつも体内をアルコール消毒してくれてます。まだ私の人生が長い（?）ので末永くと願いながら、常に感謝してます。そこで今回私が紹介するのは、四万十川源流特産栗焼酎**「ダバダ火振」**です。初めて口にする栗焼酎の印象はただ「何コレ!! この刺激が強烈」栗のまろやかな刺激が、頭のテッペンで暴れている様な感じ。飲む程に体が軽くなってきたその時突然「嫁」の鋭い声「**何杯飲んでるの 飲み過ぎ**」俺「え!!何杯って？1…2杯……」忘れた頃に聞こえてくる「嫁」の一言です。（災害と同じ）飲み方は様々ですが私はロックが最高です。私が自信をもっておすすめ出来る一品です。（これは本当です）私の仲間が一人でも多く……待ってます。

皆様、お元気ですか、インフルエンザが流行していますがいかがですか？
2012年4月号で、お会いしました、店内商品課の斉藤芳衛です。
今日は前回の話の続きですが、私は釣の次ぎに野山を歩くことが大変に好きです 野山の雪もとけて、木々には新芽がほころび、大地がこの時とばかりにグリーン色に輝くのです。私はこの時とばかりに野山に入り山菜とりを楽しみます。一番にとれる物は、コゴミです。とる量は、2〜3回食べる分だけ、けっしてむだな量はとりません。次にとれるのは、タラの芽 いずれも茹でて ドレッシングで食べたり（マヨネーズ等も） 油であげたりして食べます。コゴミなどは、タタきで納豆などとまぜて食べたりもします。
└▷又、テンプラ等にしてもおいしくいただけます。
次には、ワラビ、食べ方としては、かるく茹でて、浅漬の素につけこんで食べたり、茹でて、マヨネーズ・一味等を付けてたべます。
最後にフキ、ウド、です。双方とも、私はテンプラが最高！
その他で、野ネギ、ミツバ、などと、このんでとりに行きます。
前回も話しましたが 野山の道ばたなどには多くのあきかんが捨ててあります。
『自然を大切に』したいものです。釧路は観光地です。他県、他国から色々な人がきます 美しい所を見せてあげたいです!!

安心・安全な店作りに心掛ておりますので、お気付の点が有りましたら、お話し下さい!!
心より御来店をお待ち申し上げます。

いつも、ご来店、ご利用
ありがとうございます。
私は、芦野店惣菜の石村です。
最近、子供と一緒に近所の
スパゲティー屋（千房）へ行って来ました。
熱々の鉄板にジュージューと音を立てて出て来て
とっても、おいしかったんです。また行きたいと思いました。
当店でも、心のこもった手造り商品も
有ります。みなさまもご来店して味をたしかめて下さい。
当店のナポリタンもボリュームあっておいしいですヨ♪



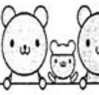


惣菜部 今月の価格破壊メニュー!

〈3月31日まで実施中〉

日	フライドチキン（サイ・ドラム各2個）	1パック	297円
月	塩ザンギ弁当	1パック	260円
火	ジューシーメンチカツ（大）	4個・1パック	197円
水	助六寿司（太巻4ヶ・いなり4個）	1パック	297円
木	ジャンボ肉焼売・海鮮焼売	各5個1パック	197円
金	パリット春巻	8本・1パック	197円
土	生寿司盛合せ（サーモン・カニ他）	8カン・1パック	297円

愛国ブウ横丁 ちえ店長の 今月のおすすめ本



「なっちゃうかもよ」　斉藤多加子　PHP研究所
はなくそをほじると…みみたぶをひっぱると…
ゆびをしゃぶると…小さな人がしそうなことが次々に登場します。絵ではなく場面ごとに人形を作って作られた絵本でこの人形の大袈裟さが絵本を面白いものにしています。
本の帯には「子どもには楽しいけれど、親には困りものの行為を、楽しくやめさせるためのしつけ絵本」と書かれています。これで、やめるかどうかは疑問ですが、子どもたちは本には大喜びしています。
扉に描かれた“なったらいいな”には大人もつい“そうだねぇ！”と言って笑っています。

ブー横丁　鈴木千恵

社長通信

NO.27

先月は南九州の酒蔵を5社訪問してきて血液が芋化状態になる。
驚いたのは良い酒を造ろうとする意識の高さと、清潔で礼儀のしっかりした会社が多かった事。会社案内の丁寧さや、私達の車が見えなくなるまでのお辞儀や手を振る姿勢が、一流旅館にきたような錯覚と感動を味わう。業種が違うとはいえ、おもてなしの在り様を学び、当社でも当たり前のようにできるよう取り組まねばと強く思う。

途中、知覧にある特攻平和会館に立ち寄ったが、観光気分で入ったのが大変申し訳ない思いと、1時間しか滞在できなかったのが残念。自分が20歳の頃の平和ボケした頭ではとても書けないであろう、親や家族への手紙を読むと文面には無い切ない想いまで突き刺さってくる。

父母に宛てた北海道出身の方、二人の子供にカタカナで書いた父親、6歳の時にきた継母に対するお詫びなど読むにつれて涙で動けなくなる。

自分の命は決して自分の物だけではなく、たくさんの思いや積み重ねられた歴史があって今ある事を痛感。

鹿児島で会った方から贈られた言葉

「明日死ぬと思って今日を生きなさい。
永遠に生きられると思って、これからも学び続けなさい。」